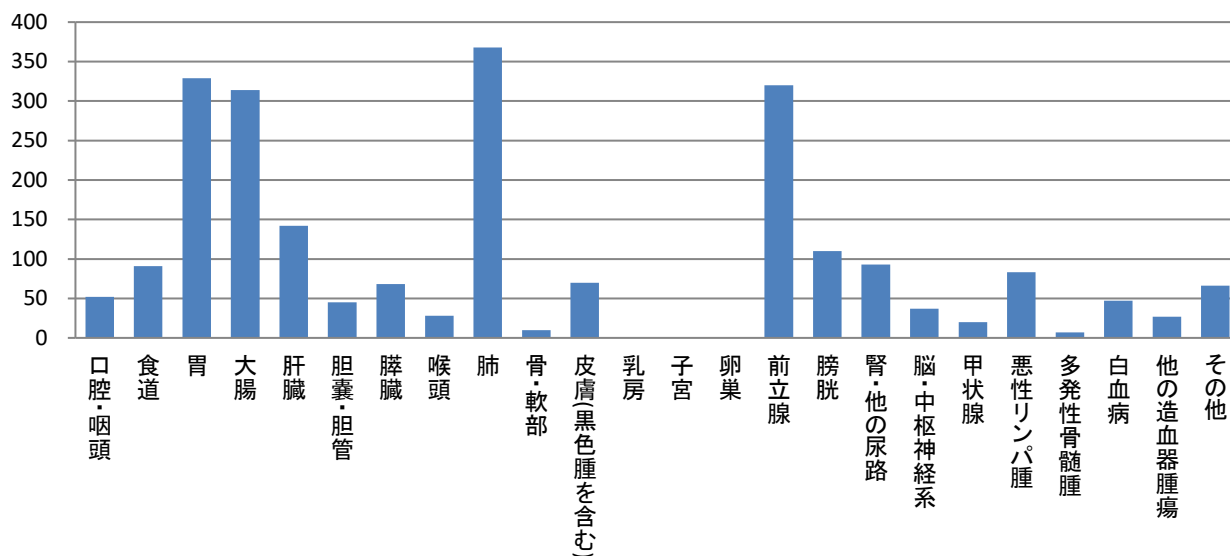


1. 性別・部位別登録数と割合

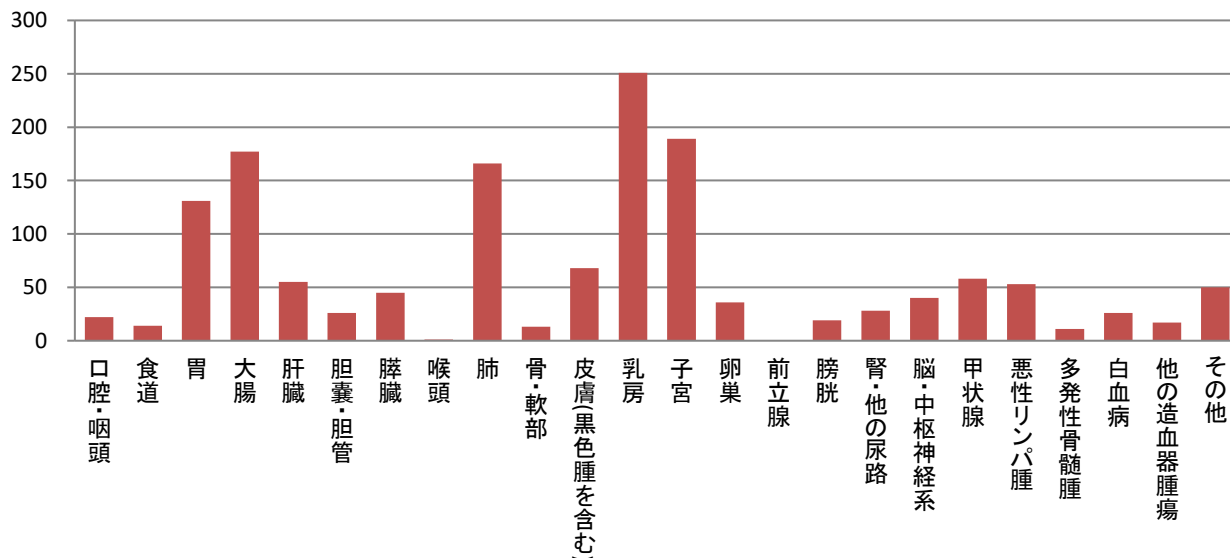
診断日: 2011年1月1日 ~ 2011年12月31日

登録数は、多い方から、男性では、肺、胃、前立腺、大腸、肝臓、女性では、乳房、子宮、大腸、肺、胃の順となる。
割合は、男性が61%、女性が39%で男性が多い。

部位別登録数(男性)



部位別登録数(女性)



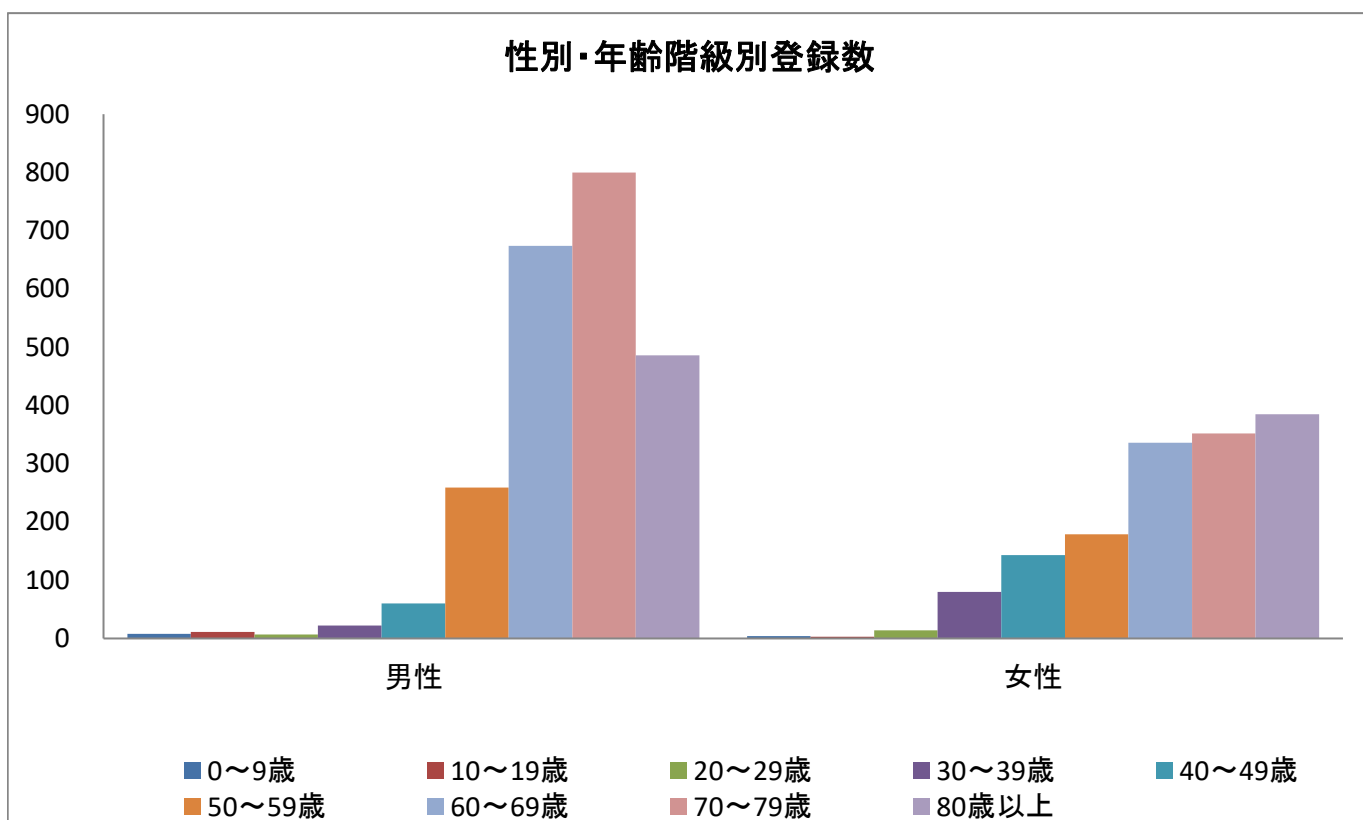
	登録数			割合		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
口腔・咽頭	52	22	74	70%	30%	100%
食道	91	14	105	87%	13%	100%
胃	329	131	460	72%	28%	100%
大腸	314	177	491	64%	36%	100%
肝臓	142	55	197	72%	28%	100%
胆嚢・胆管	45	26	71	63%	37%	100%
膵臓	68	45	113	60%	40%	100%
喉頭	28	1	29	97%	3%	100%
肺	368	166	534	69%	31%	100%
骨・軟部	10	13	23	43%	57%	100%
皮膚(黒色腫を含む)	70	68	138	51%	49%	100%
乳房	0	251	251	0%	100%	100%
子宮	0	189	189	0%	100%	100%
卵巣	0	36	36	0%	100%	100%
前立腺	320	0	320	100%	0%	100%
膀胱	110	19	129	85%	15%	100%
腎・他の尿路	93	28	121	77%	23%	100%
脳・中枢神経系	37	40	77	48%	52%	100%
甲状腺	20	58	78	26%	74%	100%
悪性リンパ腫	83	53	136	61%	39%	100%
多発性骨髄腫	7	11	18	39%	61%	100%
白血病	47	26	73	64%	36%	100%
他の造血器腫瘍	27	17	44	61%	39%	100%
その他	66	50	116	57%	43%	100%
合計	2,327	1,496	3,823	61%	39%	100%

2. 性別・年齢階級別登録数

診断日:2011年1月1日 ~ 2011年12月31日

男性では、60歳代と70歳代にピークが見られる。
女性では、加齢とともに増加する傾向が見られるが、
50歳代から60歳代にかけてほぼ倍増、その後は漸増するのが注目される。

	男性	女性	計
0～9歳	8	4	12
10～19歳	11	3	14
20～29歳	7	14	21
30～39歳	22	80	102
40～49歳	60	143	203
50～59歳	259	179	438
60～69歳	674	336	1,010
70～79歳	800	352	1,152
80歳以上	486	385	871

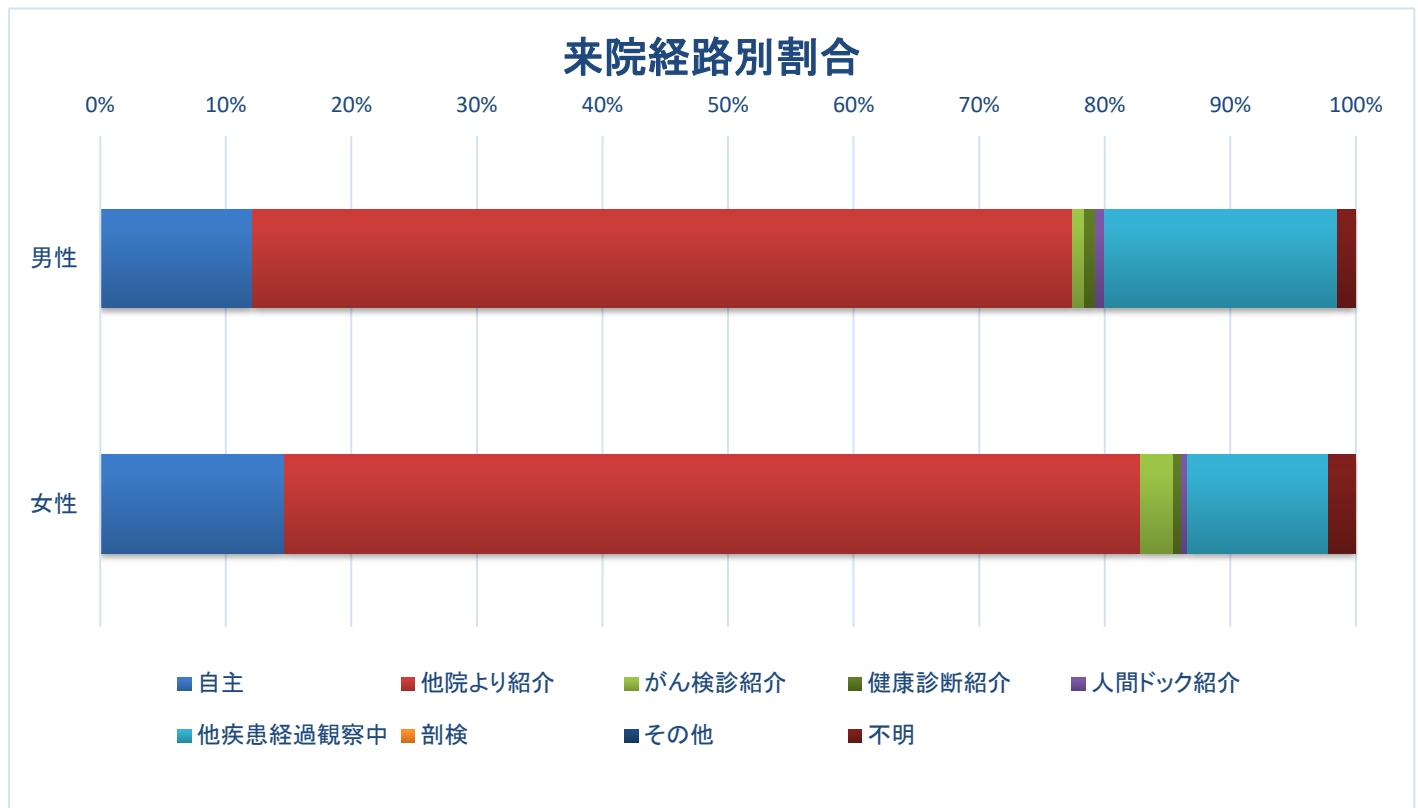


3. 来院経路別登録数と割合

診断日:2011年1月1日 ~ 2011年12月31日

来院経路は、多い方から「他院より紹介」が男女とも6割強を占め、次いで「他疾患経過観察中」、「自主」の来院がともに11%から19%で、「がん検診」、「人間ドック」、「健康診断」の紹介による来院は少ない。

	自主	他院より紹介	がん検診紹介	健康診断紹介	人間ドック紹介	他疾患経過観察中	剖検	その他	不明	合計
男性	283	1,519	22	21	16	432	0	0	34	2,327
女性	219	1,021	39	9	8	168	0	0	32	1,496
男性	12%	65%	1%	1%	1%	19%	0%	0%	1%	100%
女性	15%	68%	3%	1%	1%	11%	0%	0%	2%	100%

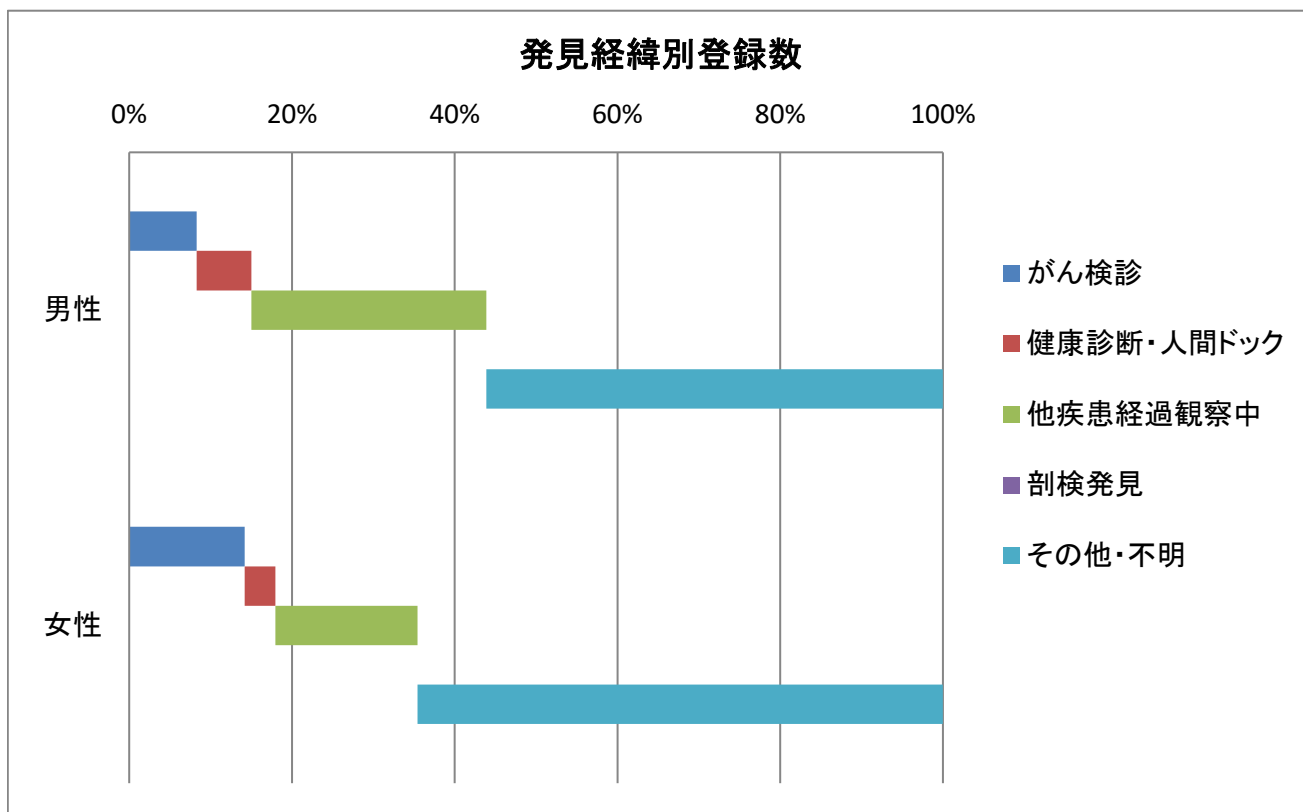


4. 発見経緯別登録数と割合

診断日:2011年1月1日 ~ 2011年12月31日

発見経緯は、「その他・不明」を除くと、多い方から「他疾患経過観察中」が男性29%、女性17%で最も多い。
 「がん検診」や「健康診断・人間ドック」によるものはそれぞれ10%前後で少ない。
 「その他・不明」が半数以上を占めるのを考慮する必要がある。

	がん検診	健康診断・人間ドック	他疾患経過観察中	剖検発見	その他・不明	合計
男性	193	156	672	0	1,306	2,327
女性	212	57	261	0	966	1,496
男性	8%	7%	29%	0%	56%	100%
女性	14%	4%	17%	0%	65%	100%



5. 部位別各種集計結果のまとめ

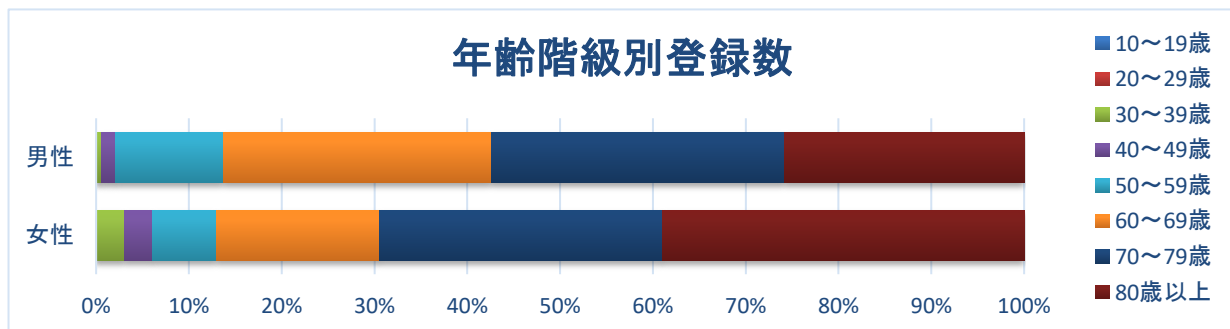
部位： 胃

診断日： 2011/01/01 ~ 2011/12/31

胃がんは、60歳以上が男女とも9割弱を占め、男性は、70歳代、女性は80歳以上が最も多い。
 ステージ別には、I期が64%と6割強を占め、II期は11%、III期は3%と少ないが、IV期は18%に増加する。
 ステージ別に治療方法を観察すると、I期では「手術のみ」、「内視鏡のみ」が81%でほとんどを占めるが、
 II期、III期では「内視鏡のみ」は0%、「手術のみ」は25%、21%に減少、「手術/内視鏡+薬物療法」は69%、64%に増加する。
 IV期では「薬物療法のみ」が41%、「治療なし」が22%に増加する一方、「手術/内視鏡+薬物療法」は18%に減少する。

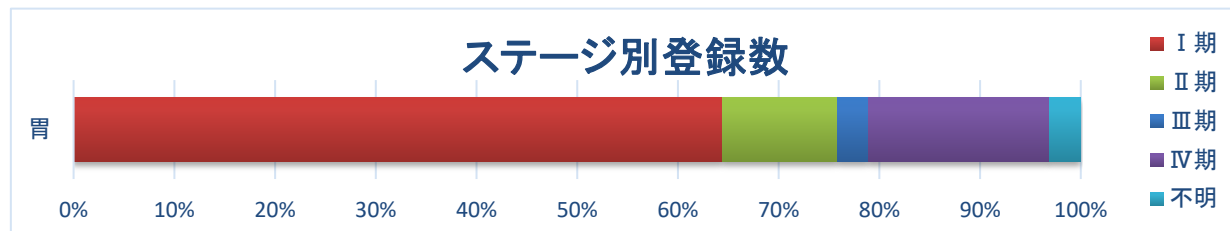
1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10~19歳	0	0
20~29歳	0	0
30~39歳	2	4
40~49歳	5	4
50~59歳	38	9
60~69歳	95	23
70~79歳	104	40
80歳以上	85	51
合計	329	131



2. ステージ別登録数

	件数	割合
I期	293	64%
II期	52	11%
III期	14	3%
IV期	82	18%
不明	14	3%
合計	455	100%

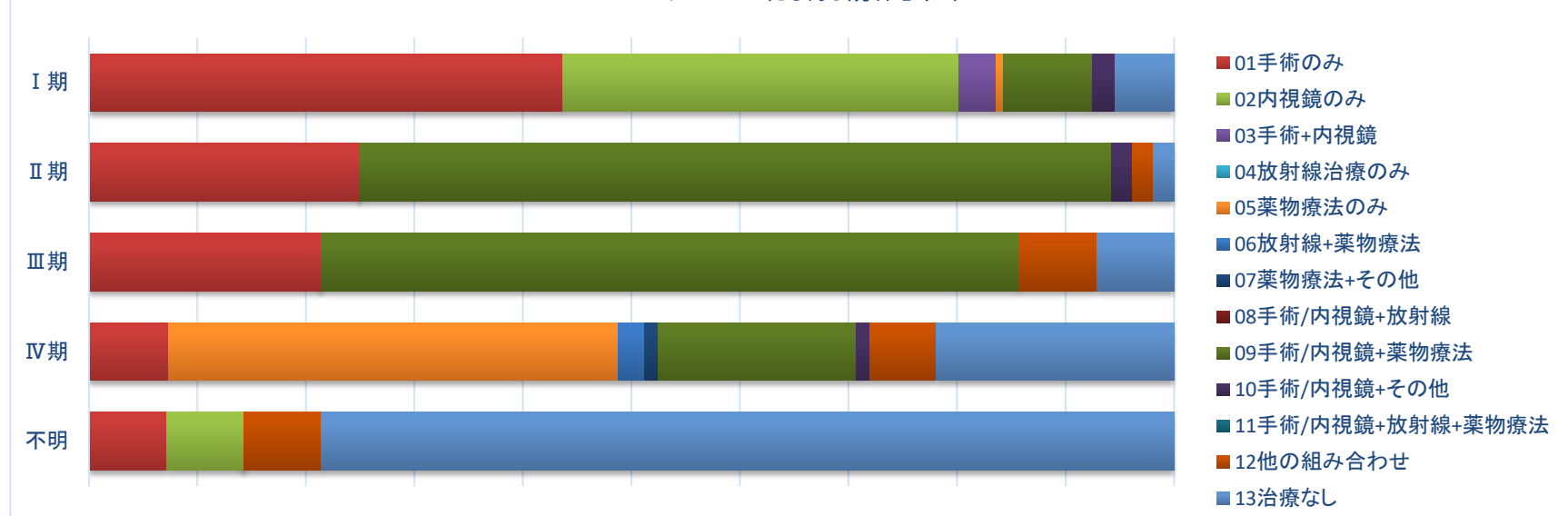


3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	I期	II期	III期	IV期	不明	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	128	13	3	6	1	44%	25%	21%	7%
02内視鏡のみ	107	0	0	0	1	37%	0%	0%	0%
03手術+内視鏡	10	0	0	0	0	3%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
05薬物療法のみ	2	0	0	34	0	1%	0%	0%	41%
06放射線+薬物療法	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	2%
07薬物療法+その他	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	1%
08手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	24	36	9	15	0	8%	69%	64%	18%
10手術/内視鏡+その他	6	1	0	1	0	2%	2%	0%	1%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
12他の組み合わせ	0	1	1	5	1	0%	2%	7%	6%
13治療なし	16	1	1	18	11	5%	2%	7%	22%
合計	293	52	14	82	14	100%	100%	100%	100%

ステージ別治療方法



5. 部位別各種集計結果のまとめ

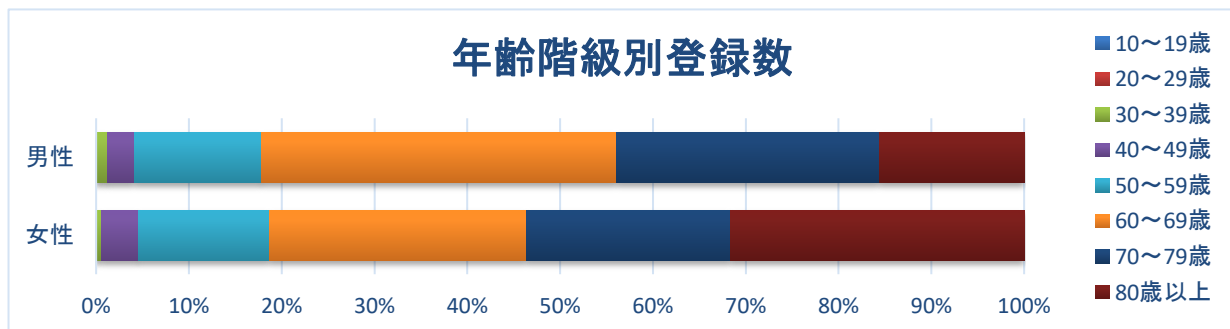
部 位： 大腸

診断日： 2011/01/01 ~ 2011/12/31

大腸がんは、60歳以上が男女とも8割強を占め、男性は、60歳代、女性は80歳以上が最も多い。
 ステージ別には、0期が19%、I期からIV期までは、23%から15%で推移し、全体的に大きな差異は見られない。
 ステージ別に治療方法を観察すると、0期では「内視鏡のみ」が88%を占め、「手術のみ」は8%と少ない。
 I期では「手術のみ」が54%で最も多く、次いで「内視鏡のみ」は21%、「手術/内視鏡+薬物療法」は13%と多い。
 II期、III期では、「内視鏡のみ」は0%、1%となり、「手術のみ」と「手術/内視鏡+薬物療法」が併せて8割~9割弱に増加し、
 IV期では「手術のみ」は9%まで減少し、「薬物療法のみ」、「手術/内視鏡+薬物療法」と「治療なし」で7割を占めるようになる。

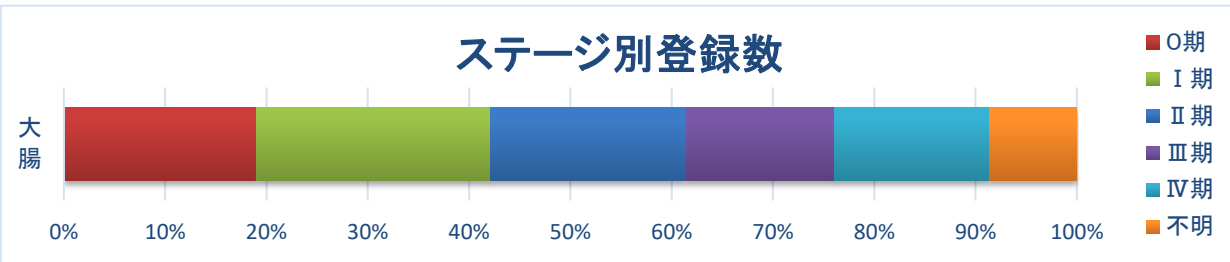
1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10~19歳	0	0
20~29歳	0	0
30~39歳	4	1
40~49歳	9	7
50~59歳	43	25
60~69歳	120	49
70~79歳	89	39
80歳以上	49	56
合計	314	177



2. ステージ別登録数

	件数	割合
0期	92	19%
I期	112	23%
II期	94	19%
III期	71	15%
IV期	74	15%
不明	42	9%
合計	485	100%

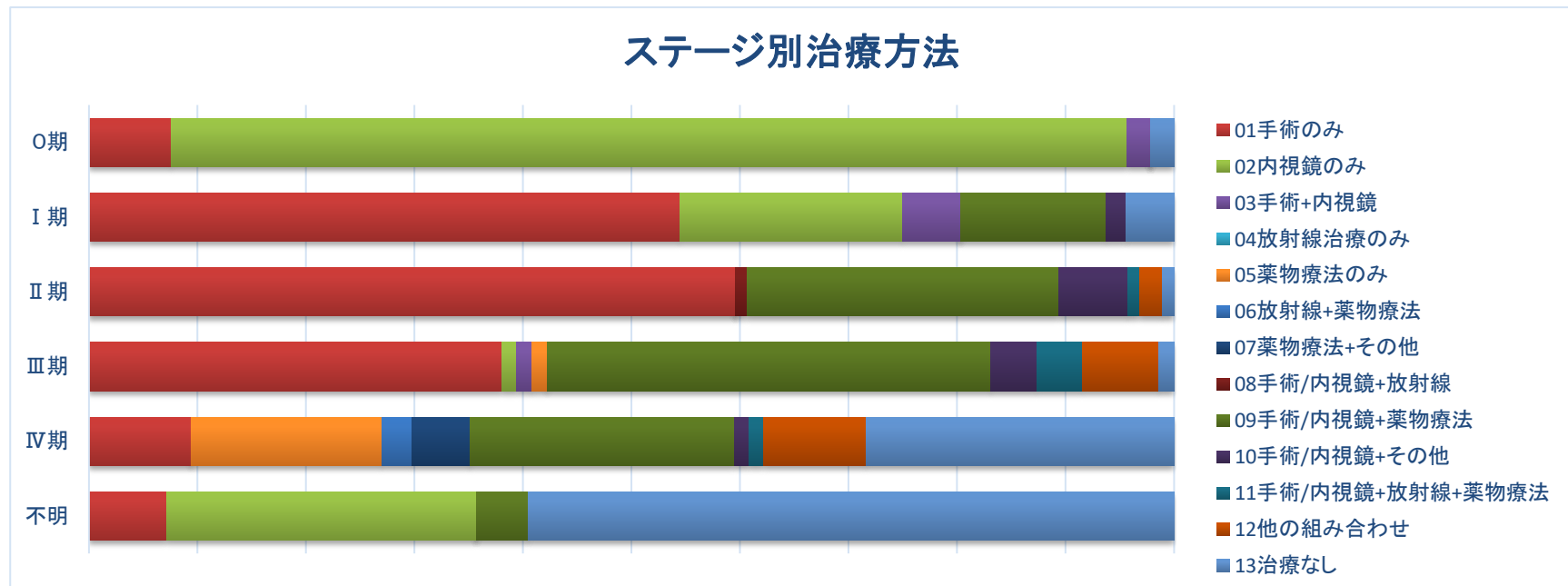


3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	0期	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	7	61	56	27	7	3	8%	54%	60%	38%	9%
02内視鏡のみ	81	23	0	1	0	12	88%	21%	0%	1%	0%
03手術+内視鏡	2	6	0	1	0	0	2%	5%	0%	1%	0%
04放射線治療のみ	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
05薬物療法のみ	0	0	0	1	13	0	0%	0%	0%	1%	18%
06放射線+薬物療法	0	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	0%	3%
07薬物療法+その他	0	0	0	0	4	0	0%	0%	0%	0%	5%
08手術/内視鏡+放射線	0	0	1	0	0	0	0%	0%	1%	0%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	0	15	27	29	18	2	0%	13%	29%	41%	24%
10手術/内視鏡+その他	0	2	6	3	1	0	0%	2%	6%	4%	1%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	0	1	3	1	0	0%	0%	1%	4%	1%
12他の組み合わせ	0	0	2	5	7	0	0%	0%	2%	7%	9%
13治療なし	2	5	1	1	21	25	2%	4%	1%	1%	28%
合計	92	112	94	71	74	42	100%	100%	100%	100%	100%

ステージ別治療方法



5. 部位別各種集計結果のまとめ

部位： 肺

診断日： 2011/01/01 ~ 2011/12/31

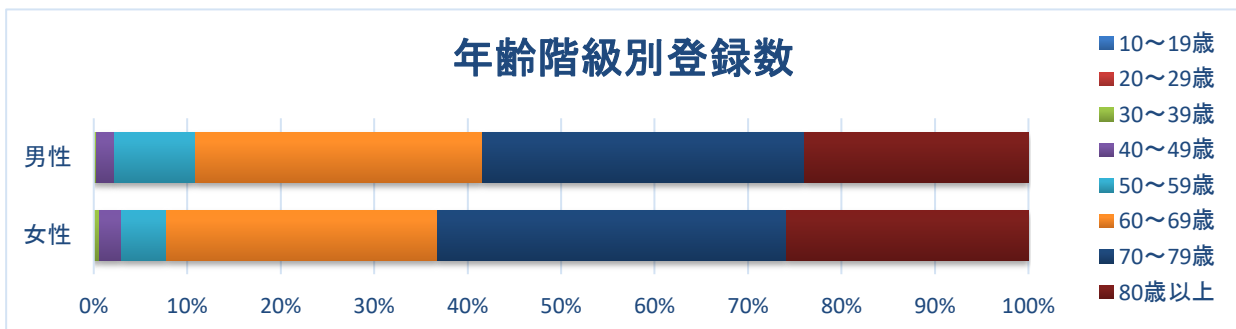
肺がんは、男女とも60歳以上が9割前後を占め、男女とも70歳代が最も多い。

ステージ別には、I期は39%と最も多く、II期は6%と少なく、III期は22%、IV期は29%で、III期とIV期を併せると5割強を占める。

ステージ別の治療方法を観察すると、0期は2件と少なく、「放射線治療のみ」と「薬物療法のみ」が各1件ずつで、それぞれで半数を占める。I期では「手術のみ」が57%、「手術/内視鏡+薬物療法」が29%で併せて9割弱を占める。II期、III期、IV期と進行に伴って、「手術のみ」は減少し、「薬物療法のみ」は0%から27%、43%に増加し、「放射線+薬物療法」は、10%、18%、16%と推移する。「治療なし」は、IV期で28%に増加する。

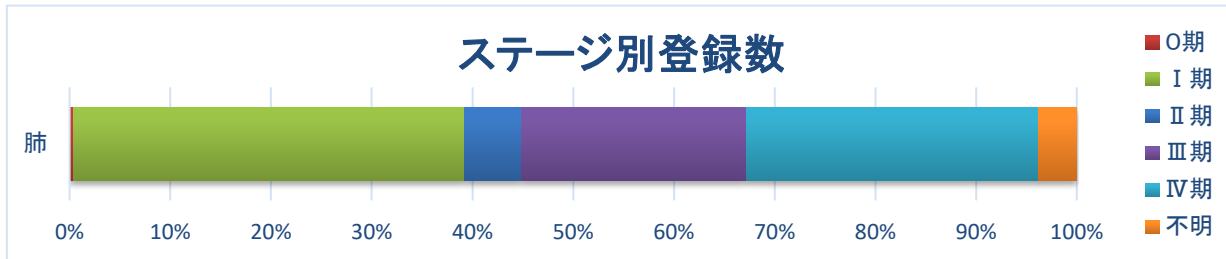
1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10～19歳	0	0
20～29歳	0	0
30～39歳	1	1
40～49歳	7	4
50～59歳	32	8
60～69歳	113	48
70～79歳	127	62
80歳以上	88	43
合計	368	166



2. ステージ別登録数

	件数	割合
0期	2	0%
I期	207	39%
II期	30	6%
III期	119	22%
IV期	155	29%
不明	20	4%
合計	533	100%

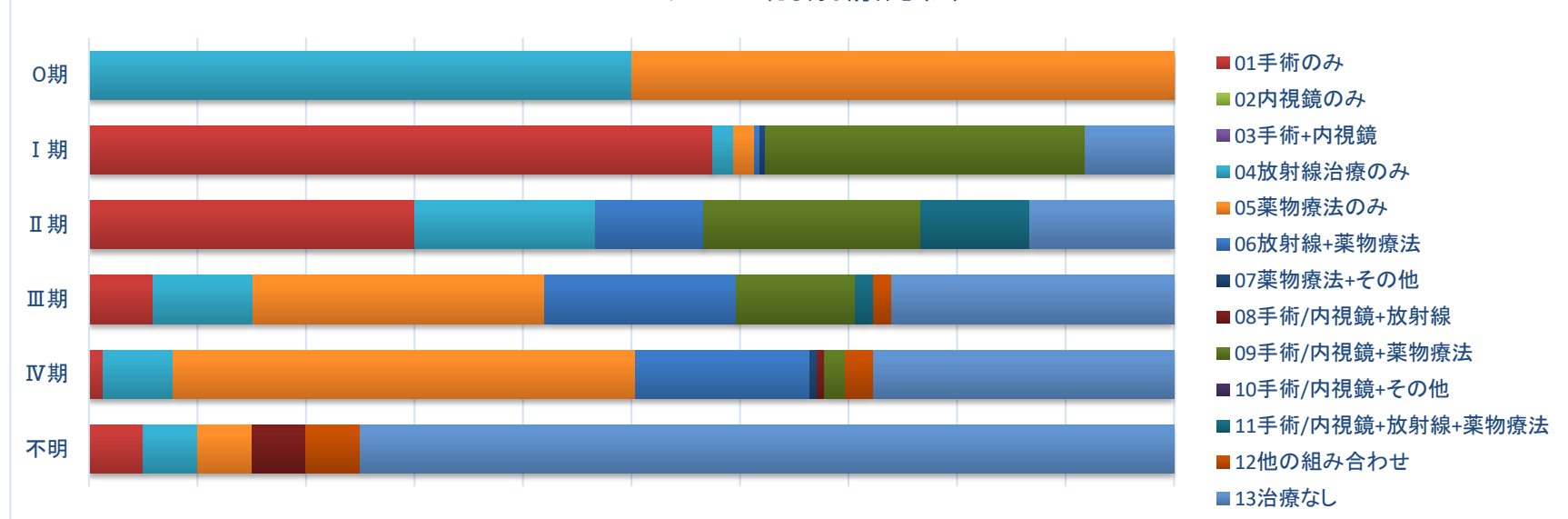


3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	0期	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	0	119	9	7	2	1	0%	57%	30%	6%	1%
02内視鏡のみ	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
03手術+内視鏡	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	1	4	5	11	10	1	50%	2%	17%	9%	6%
05薬物療法のみ	1	4	0	32	66	1	50%	2%	0%	27%	43%
06放射線+薬物療法	0	1	3	21	25	0	0%	0%	10%	18%	16%
07薬物療法+その他	0	1	0	0	1	0	0%	0%	0%	0%	1%
08手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0	1	1	0%	0%	0%	0%	1%
09手術/内視鏡+薬物療法	0	61	6	13	3	0	0%	29%	20%	11%	2%
10手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	0	3	2	0	0	0%	0%	10%	2%	0%
12他の組み合わせ	0	0	0	2	4	1	0%	0%	0%	2%	3%
13治療なし	0	17	4	31	43	15	0%	8%	13%	26%	28%
合計	2	207	30	119	155	20	100%	100%	100%	100%	100%

ステージ別治療方法



5. 部位別各種集計結果のまとめ

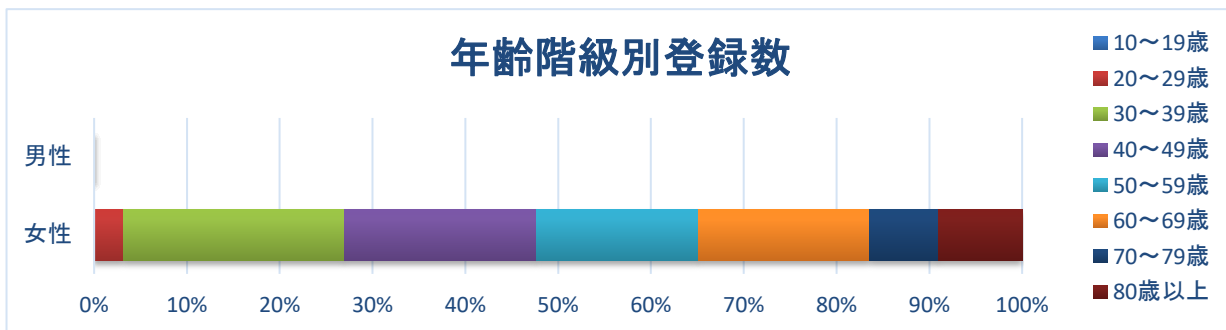
部 位： 子宮

診断日： 2011/01/01 ~ 2011/12/31

子宮がんは、他のがんと比べ発症年齢が低く、30歳代がピークで、その後40歳代、50歳代と年代とともに減少する傾向にある。ステージ別には、0期が37%、I期が39%で併せて8割弱を占め、次いでII期、III期は8%、7%と減少し、IV期も9%と少ない。ステージ別の治療方法を観察すると、0期では「手術のみ」が88%でほとんどを占める。I期では「手術のみ」は52%、「手術/内視鏡+薬物療法」が13%、「治療なし」が28%と多い。次いで、件数は少なくなるが、II期では、「放射線+薬物療法」が27%、「手術/内視鏡+薬物療法」が33%、「手術/内視鏡+放射線+薬物療法」が20%に増加し、III期では、「手術のみ」が25%、「放射線治療のみ」が33%、「治療なし」が17%に増加する。IV期では、「治療なし」は31%、「放射線+薬物療法」は31%、「薬物療法のみ」は19%に増加するが、「放射線治療のみ」は13%と少なくなる。

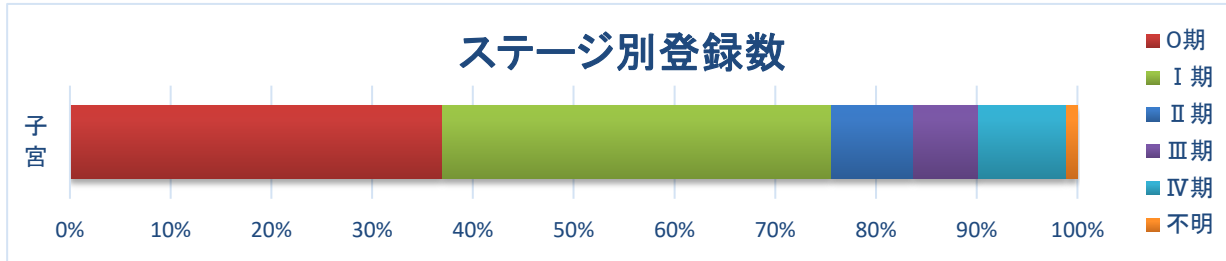
1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10~19歳	0	0
20~29歳	0	6
30~39歳	0	45
40~49歳	0	39
50~59歳	0	33
60~69歳	0	35
70~79歳	0	14
80歳以上	0	17
合計	0	189



2. ステージ別登録数

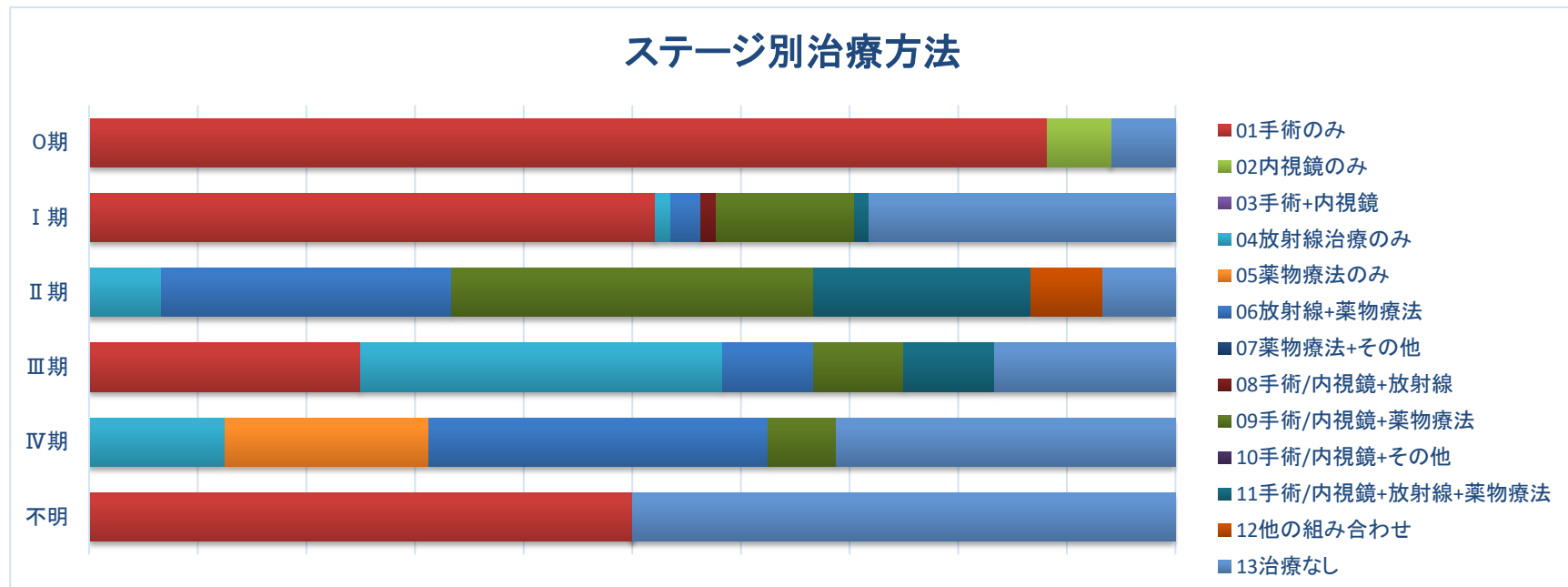
	件数	割合
0期	68	37%
I期	71	39%
II期	15	8%
III期	12	7%
IV期	16	9%
不明	2	1%
合計	184	100%



3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	0期	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	60	37	0	3	0	1	88%	52%	0%	25%	0%
02内視鏡のみ	4	0	0	0	0	0	6%	0%	0%	0%	0%
03手術+内視鏡	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	0	1	1	4	2	0	0%	1%	7%	33%	13%
05薬物療法のみ	0	0	0	0	3	0	0%	0%	0%	0%	19%
06放射線+薬物療法	0	2	4	1	5	0	0%	3%	27%	8%	31%
07薬物療法+その他	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
08手術/内視鏡+放射線	0	1	0	0	0	0	0%	1%	0%	0%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	0	9	5	1	1	0	0%	13%	33%	8%	6%
10手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%	0%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	1	3	1	0	0	0%	1%	20%	8%	0%
12他の組み合わせ	0	0	1	0	0	0	0%	0%	7%	0%	0%
13治療なし	4	20	1	2	5	1	6%	28%	7%	17%	31%
合計	68	71	15	12	16	2	100%	100%	100%	100%	100%



5. 部位別各種集計結果のまとめ

部 位: 前立腺

診断日: 2011/01/01 ~ 2011/12/31

前立腺がんは、60歳以上がほとんどで92%を占め、70歳代が最も多い。

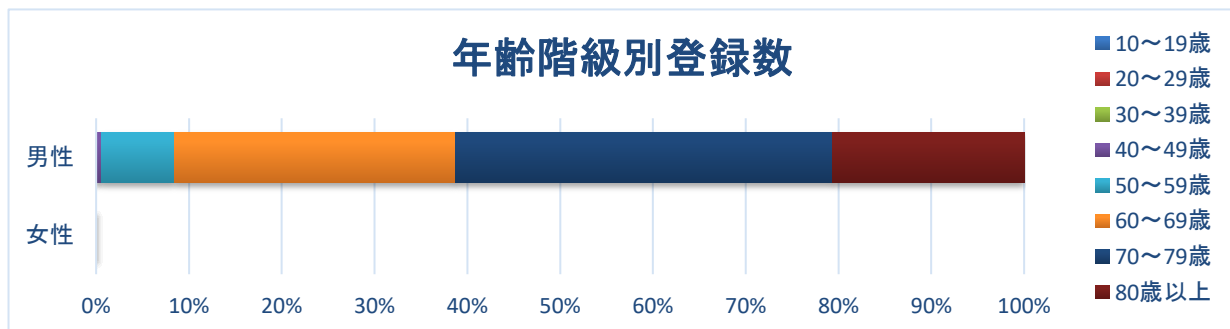
ステージ別には、I期は1%と最も少なく、II期は70%で最も多く、III期は10%と減少し、IV期は17%に増える。

ステージ別の治療方法を観察すると、I期では件数が3件と少ないが、「内視鏡のみ」、「放射線治療のみ」と「他の組み合わせ」がともに1件ずつで33%である。II期は「手術のみ」が36%、「薬物療法のみ」が24%、「治療なし」が19%を占める。

III期、IV期では「薬物療法のみ」は39%から73%に増加、「放射線+薬物療法」は35%から7%に減少、ともに併せて約8割を占める。

1. 年齢階級別登録数

	男性	女性
10~19歳	0	0
20~29歳	0	0
30~39歳	0	0
40~49歳	2	0
50~59歳	25	0
60~69歳	97	0
70~79歳	130	0
80歳以上	66	0
合計	320	0



2. ステージ別登録数

	件数	割合
I期	3	1%
II期	222	70%
III期	31	10%
IV期	55	17%
不明	8	3%
合計	319	100%



3. ステージ別治療方法

註) %は、ステージ毎の治療方法別割合を示す

	I期	II期	III期	IV期	不明	I期	II期	III期	IV期
01手術のみ	0	80	3	0	0	0%	36%	10%	0%
02内視鏡のみ	1	0	0	0	1	33%	0%	0%	0%
03手術+内視鏡	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
04放射線治療のみ	1	19	0	0	1	33%	9%	0%	0%
05薬物療法のみ	0	54	12	40	0	0%	24%	39%	73%
06放射線+薬物療法	0	14	11	4	0	0%	6%	35%	7%
07薬物療法+その他	0	2	0	0	0	0%	1%	0%	0%
08手術/内視鏡+放射線	0	2	0	0	0	0%	1%	0%	0%
09手術/内視鏡+薬物療法	0	8	2	2	0	0%	4%	6%	4%
10手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	0	0%	0%	0%	0%
11手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	2%
12他の組み合わせ	1	1	0	0	0	33%	0%	0%	0%
13治療なし	0	42	3	8	6	0%	19%	10%	15%
合計	3	222	31	55	8	100%	100%	100%	100%

ステージ別治療方法 (Stage-specific Treatment Methods)

